

京都女子大学

発達教育学部紀要

第 4 号

平成20年 2 月

田 井 康 雄：教育における自然主義の誤謬について	1
原 純子・大野雅樹・植山こずえ・長嶋正實： 医療施設における病児のきょうだい支援（第1報） —低年齢児の院内単独行動に関する調査からの検討—	11
深見友紀子・中平勝子・赤羽美希： ピアノ弾き歌い実技指導における練習映像提出併用の効果 ...	19
米谷 淳・棚橋美代子・向平知絵：保育者養成における人形劇の活用 —丹下進の人形劇指導—	29
Hirofumi MORI, Takashi NAKAI, Seiichiro KIHARA: The current state and problems regarding teacher training in Japan as seen from the point of view of fostering practical teaching performance.	41
ガハプカ 奈美：保育者養成課程における歌唱指導について（I） ～発声法の重要性～	55
荒川恵子・林家染雀・太田公子：幼児の鑑賞教材としての落語の可能性 —落語「平林」鑑賞を通して—	63
小林公江・小林幸男：沖縄県本部町東のエイサー	83
秀 村 冠 一：情報爆発時代の教育とホワイトヘッドの有機体的コスモロジー ...	103
平成20年度公開講座	113
修士論文・卒業論文題目	114

平成19年度 公開講座

◆教育学科公開講座 5月12日(土) 13:30~16:00

『フィンランドの教育から日本の教育を考える』

【第1部】講演「フィンランドの教育」

日本教育大学院大学客員教授

北川 達夫氏

【第2部】対談「現代日本の教育の課題—フィンランドの教育から何を学ぶか—」

日本教育大学院大学客員教授

北川 達夫氏

本学教授

上田 学氏

◆発達教育学系春季公開講座 5月13日(土) 13:30~16:00

【第1部】講演「特別支援教育の現状と課題」

花園大学助教授

渡辺 実氏

【第2部】対談「子ども同士のかかわりあいはどう育てるか」

花園大学助教授

渡辺 実氏

本学教授

山上 雅子氏

◆発達教育学系秋季公開講座 12月15日(土) 14:00~16:30

『保育と絵本』

【第一部】「長谷川義史の絵本の中のユーモア」

本学教授

舟橋 斉氏

【第二部】「絵本からいのちが生まれる」

絵本作家

長谷川義史氏

◆教育学科音楽教育学専攻公開講座 11月24日(土) 13:30~15:30

『2つのポーランド〜ショパン、アウシュヴィッツ〜』

本学教授

田隅 靖子氏

ピアニスト、ポーランドクラクフ音楽アカデミー教授

アンジェイ・ピクル氏

国学院大学日本文化研究所研究員

ドロテア・フィルス氏

風景画提供 画家、元北海学園大学教授

國田 祐作氏

◆児童学科前期公開講座 7月7日(土) 14:00~17:00, 8日(日) 13:00~17:30

【1日目】「ダンス&リトミック」

本学教授

新矢 博美氏

リトミック研究センター

中野ゆかり氏

【2日目】「イヌバラ法によるカウンセリング実習」

本学准教授

大辻 隆夫氏

本学非常勤講師

塩川 真理氏

◆児童学科後期公開講座 12月1日(土) 13:30~16:00

【第一部】「こどもの健康と環境：歴史的概観」

本学教授

大野 雅樹氏

【第二部】「こどもと化学物質：未来世代へのための新たな試み」

千葉大学大学院医学研究院教授

森 千里氏

平成18年度

大学院家政学研究科（修士課程）論文題目

〈児童学専攻〉

- 石 田 沙弥香 気になる幼児への支援の一考察
—集团的SSTによる検討—
- 伊 藤 嘉奈子 母親の育児意識についての一考察
—ストレスと父親のサポートとの関連性—

平成19年度

大学院発達教育学研究科（修士課程）論文題目

〈教育学専攻〉

- 岡 野 雅 子 学社連携・融合の可能性と課題
—京都市における地域をめぐる学校教育と社会教育の取組み—
- 平 阪 美 穂 コミュニティ・スクールの現状とその課題
—「学校と地域の連携」の観点から—
- 牧 野 良 美 大正期における高等教育改革とその社会的背景
- 水 森 ゆりか 学校改善を目指す学校評価のあり方に関する考察
—イギリスの取り組みを通して—

〈心理学専攻〉

- 石 川 順 子 時間的展望に関する研究
—一般家庭の児童と児童養護施設に暮らす児童を対象として—
- 金 輪 優 里 療育機関に通う母親の人間関係と自己成長感
～質問紙調査とDoll Location Testを通して～
- 鈴 木 知 子 子育て中の共働き女性の罪悪感と心理的健康との関連
—罪悪感への対処に着目して—
- 羽 川 可奈子 青年期後期の自己愛と自己対象関係体験の関連についての研究
—母親、父親、重要他者との自己対象体験と性差に着目して—
- 平 林 美 夏 子育て支援としての母親との絵本の読みあいに関する一考察

〈表現文化専攻〉

- 大 倉 千 香 《楽興の時》
—ラフマニノフ作曲《楽興の時》作品16を中心に—
- 川 野 瞳 造形表現における触覚作用を取り入れた制作の可能性
—触覚作用の補助的介入の可能性を探る—
- 栗 原 綾 子 冗談音楽の手法
—笑いと言楽のかかわり—
- 瀬 上 未 紗 R. シューマンのピアノ作品における《ダヴィッド同盟舞曲集》の位置づけ
二 宮 麻 莉 2台のピアノ曲の考察
—吉松隆の《ランダムバード変奏曲》と自作の作品を通して—

平成19年度

大学院文学研究科（修士課程）論文題目

〈表現文化専攻〉

- 兵 頭 未 来 共感を誘発する造形表現についての一考察
—心地良さを主題としたインスタレーションを通じて—

平成19年度

発達教育学部教育学科 卒業論文・制作題目

教育学専攻

学 生 氏 名	卒 業 論 文 ・ 卒 業 制 作 題 目	所 属 ゼ ミ
赤 澤 美 紀	小学校におけるキャリア教育の体験活動とその課題 ―京都市の「ステューデントシティ」を事例として―	(森(繁))
足 塚 未 帆	健全な自尊感情を育む道徳学習 ―他者とつながる体験活動を位置づけた総合単元の事例をもとに―	(富村)
石 井 温 子	地域に生きる力を育む総合的な学習の時間 ―社会科から発展する学習づくり―	(富村)
石 田 麻 衣	初等教育における描画材料の研究 ―「空」をテーマとして―	(黒田)
石 野 有 希	プリンセス・ストーリーと女性性の形成	(森(繁))
板 倉 彩 乃	京都市を通してみる小学校英語活動	(上田)
今 西 靖 枝	小学校における造形活動と音楽活動の総合化の試み	(山野)
岩 佐 ななえ	幼児期におけるメディア環境のあり方 ―アニメーションと絵本の比較をもとに―	(富村)
岩 田 瑛莉奈	身近な自然を通した自然体験活動 ～子どもへ与えるもの～	(宮野)
岩 田 唯	「人形劇『たいせつないのち』」(制作), 「いのちを慈しむ心を育てる視聴覚教材について」(副論文)	(山野)
岩 根 利 江	絵画制作「NATURE I」, 「NATURE II」	(黒田)
植 野 加奈子	分数のわり算とe-learning教材のこれからの展望	(平野)
内 海 真理子	コーディネーターの役割から考える特別支援教育	(上田)
大 川 衣 里	これからの「学校教育」のあり方 ～“社会性”を習得するために～	(田井)
大久保 光 穂	学力格差社会 ～カエルの子はカエルなのか～	(田井)
大 嶋 真希子	キャンプ活動における教育効果	(宮野)
大 谷 裕 美	適塾の教育から現代教育問題を考える	(宮野)
荻 浦 寿 美	教育基本法に見られる愛国心とは	(上田)
尾 原 早衣子	遊び環境の変化と子どもの仲間集団 ―「冒険遊び場」の活動事例から―	(森(繁))
折 口 愛	『「伝え合う力」を育てる国語授業』 ―かかわり合う授業を目指して―	(吉永)
片 山 優 子	子どもの心身の発達と家庭における食卓の関わり	(表)
加 藤 真奈美	学童保育のあり方に関する研究 ―放課後の子どもたちの居場所を考える	(岩槻)
金 井 由 佳	家庭における食教育の現状と課題	(森(繁))
神 山 愛 美	子どもが輝く学級づくり ―学級通信の果たす役割―	(吉永)
川 並 美 嘉	小学校英語活動について ～コミュニケーションと国際理解の視点から～	(上田)
神 崎 愛	「放課後子どもプラン」と公立小学校の役割 ―公共性と共同性の視点から―	(森(繁))
北 田 玲	日本の社会状況といじめの変遷	(田井)
木 戸 麻紗子	いのちの教育 ～鶏の解体を通して～	(宮野)
國 澤 沙 布	地域で育む学校給食 ―「食育」との関連から―	(表)
熊 崎 裕 美	共生社会を背景とする特別支援教育での人権教育と国民意識	(上田)
監 崎 茜	里親養育の現状と今後のあり方	(表)

小 泉 彩 乃	ひらがなのルーツ研究とそのデザイン化	(黒田)
小 出 麻 美	ワーク・ライフ・バランスの現状と課題	(表)
小 西 晴 香	少年・少女を支える保護司の役割に関する調査研究 ―過程・地域社会・更正保護のあり方	(岩槻)
後 藤 真由子	大都市における私立学校ブーム現象とその要因 ―京都市内における私立中学校の変化	(上田)
齊 田 純 代	中1不登校の要因と、その未然防止法	(上田)
崎 山 慧	学校教育に地域の人材を活用する	(上田)
佐々木 美 和	小学校におけるボランティア学習の進め方に関する研究 ―各地の実践事例に学ぶ―	(岩槻)
定 綾 子	思いやる心を育む異年齢集団あそび ―冒険あそび場を利用した児童会集会活動をもとに―	(富村)
澤 暁 子	学びの場としての東京ディズニーリゾート ―なぜ人を集め続けるのか―	(田井)
澤 村 美保子	健康に生活するための体力作りの大切さに気付く学級活動 ―話し合い活動を通して―	(富村)
新 谷 恵美子	地域の人材と連携した自然体験活動	(宮野)
末 岡 祥 子	在日ブラジル人児童に対する学校教育についての調査研究	(岩槻)
杉 本 富 美	少年院における矯正教育 ―更生のために必要なもの―	(森(繁))
清 家 めぐみ	現代社会における子どもの消費行動 ―モノの記号化の視点から―	(森(繁))
曾 我 千 春	公民館の機能およびその運営に関する研究 ―大阪府枚方市を事例として	(岩槻)
十 河 佐代子	小学校における英語教育のあり方	(表)
園 田 彩	廃品を素材とする立体造形「おとことおんな」	(黒田)
高 柳 美紀子	子どもの弱体化について ―あそびを中心に―	(田井)
田 中 千 尋	人とのかかわりあう力を育む生活科学習 ―小1プロブレムに対応する入門期教育の重要性―	(富村)
谷 口 祐香里	小学校体育科授業において、運動を苦手とする児童でも積極的に参加できる授業づくり ―フラグフットボールの授業実践を通して―	(川口)
津 島 由 衣	ファンタジーから得られる感性について ―あまきみこ『白いほうし』より―	(吉永)
辻 佳 織	子どもたちの「生きる力」を育てる音楽 ―『となりのトトロ』の主題歌から学ぶ―	(土居)
辻 本 晶 絵	豊かな心と絵本	(吉永)
辻 本 享 世	特別支援教育における協働の在り方について	(田井)
寺 本 阿希子	歌唱共通共材の効果的な活用法 ―「総合的な学習の時間」と関連づけて―	(土居)
鳥 越 陽 子	自然体験のすすめ ―ボランティア体験をもとに―	(宮野)
土 居 美早紀	ダンボールによる立体造形「ボールコロコロだんボール」	(黒田)
中 井 理 絵	自己肯定感をはぐくむ生活科 ―人とのかかわりあう幼少交流活動をもとに―	(富村)
中 岡 幸 代	環境教育における体験活動 ―子どもたちにもたらす「豊かさ」―	(宮野)
中 島 萌	読書が好きな子どもを育てる読書指導	(吉永)
中 塚 紗 知	生命尊重の心を育てる道德の授業	(吉永)
中 村 沙 矢	日本の音楽の新しい学び方 ―水口小学校の実践事例をもとに―	(土居)
長 尾 郁 恵	科学系博物館と学校教育との連携について	(宮野)
名 倉 美 帆	学校で行う家庭教育支援	(表)
仁 木 里衣子	幼稚園における自制心の育成	(表)
西 金 佳 奈	小学校体育科ソフトバレーボールの初心者指導における授業づくり ―「守備中心のゲーム」及び「攻撃中心のゲーム」の学習を中心に―	(川口)
西 村 亜沙子	小学校における移動唱歌法の必要性	(土居)
西 村 侑 子	これからの母性の考え方 ―一人ひとりが自分らしく生きていくために―	(田井)

畑 美 希	「小1プロブレム」を乗り越えるために ―「機能する学級集団」へ向けての取り組みから―	(森(繁)) (田井)
林 智 美	現在の日本社会でより良い道徳教育を ―道徳教育の教科化―	(土居)
樋 口 典 子	和楽器教育の効果的な指導に関する一考察 ～筆を用いた指導実践をめざして～	(平野)
久 田 敦 美	単位をつけた式の有効性とその教育効果について	(田井)
人 見 麻 紀	教育ドラマからみる学校教育の捉え方	(吉永)
廣 部 照 美	言葉と心を豊かにする授業作り	(富村)
布 施 有 香	自分の成長に気付く生活科学習 ―発達段階に応じたキャリア教育に着目して―	(表)
古 木 経 子	担任と栄養教諭との連携による食育	(田井)
古 城 由希子	特別支援教育の取り組みについて ～一人一人の教育的ニーズに答える方法～	(土居)
細 谷 教 子	NHK『みんなのうた』が果たす社会的役割 ～その成り立ちと歴史の変遷をたどって～	(吉永)
前 田 のぞみ	明るいクラスづくりとコミュニケーション	(吉永)
前 野 香 織	「書くこと」に関する効果的な指導方法	(宮野)
松 田 真奈美	自閉症児の自然体験 ～ボランティアサークルでの経験を通して～	(吉永)
松 本 八千子	PISA型読解力育成について	(宮野)
宮 城 綾 乃	今こそ性と向き合う	(富村)
宮 西 亜 依	働く意欲の向上を目指す学習環境の創造 ―総合的な学習の時間における体験活動を通して―	(吉永) (表)
武 藤 真由香	保護者との連携でつくる学級	(吉永)
森 本 真 代	家族コミュニケーションが子どもの心身の発達に及ぼす影響	(富村)
山 岸 未 紀	学級崩壊をなくす学級経営のあり方	(富村)
山 口 紗 季	「心の居場所」となる学級をつくる学級活動 ―構成的グループ・エンカウンターを通して―	(川口) (宮野)
山 崎 佳那子	地域講師と子どもの交流を図る総合的な学習の時間 ―社会の一員としての自覚を深めるために―	(川口) (田井)
山 田 真樹野	小学校教育における演劇活動の取り組みと支援について	(田井)
山 本 奈津子	自然の偉大さ ～山村留学で子どもは変わる～	(上田)
山 本 真梨子	「よさこいソーラン」のもつ人を惹きつける力について ～参加者の意識調査を中心に～	(表) (富村)
吉 川 左也香	情報社会に生きる小学生とケータイ	(表)
吉 田 朱 希	ロバート・オウエンの性格形成論からみる家庭教育の重要性	(岩槻)
吉 弘 あやか	高杉晋作にみる「生きる力」	(田井)
吉 見 幸 恵	小児生活習慣病の現状と改善	(吉永)
田 中 真弥子	感動体験を通してリレーションを築く遠足・集団宿泊的行事 ―ボーイスカウト活動に学ぶ―	(岩槻)
池 田 知 代	就学前児に対する幼稚園・保育園での子育て支援活動	(岩槻)
伊 吹 侑里子	家庭的保育のあり方に関する調査研究 ―京都市昼間里親制度を事例として―	(川口)
神 谷 枝 里	現在の小学校における学級崩壊について ―学級崩壊を起こさないための学級経営の在り方―	(岩槻)
川 村 真 世	感想文の書き出しと結びの研究 ―くもの糸―	(岩槻)
木 村 明日香	乳幼児を習い事に通わせる親の意識に関する研究	(山野)
坂 口 綾	子育て支援センターのあり方に関する研究 ―京都市子育て支援総合センターの取り組みに学ぶ―	(表)
玉 田 有 紀	スキンシップが親子関係にもたらす影響 ～親子体操を通じた触れ合いをもとに～	(川口)

中久保 沙 織	日本における「ニート」論の検証とその実態に関する研究	(岩槻)
中 谷 佑実子	フリースクールの現状と課題 ―今後求められる教育のあり方を考える	(岩槻)
難 波 佑里子	砂遊びからみる子どもの造形活動の発達に関する研究	(山野)
日 後 佳 子	非行少年とその家族	(表)
古 川 由以子	指導者側から見る小学校・中学校・高等学校における運動部活動の実態について ～指導者が理想とする指導法と実際の指導法を比較して～	(川口)
安 長 朋 子	「触感覚を育むおもちゃのシリーズ」(制作), 「触感覚を育む教育の必要性について」 (副論文)	(山野)
吉 村 裕 子	「無我Ⅰ」「無我Ⅱ」(制作), 「子どもの造形表現の発達に適した平面表現技法の研究」 (副論文)	(山野)

文学部初等教育学専攻

学 生 氏 名	卒 業 論 文 ・ 卒 業 制 作 題 目	所 属 ゼ ミ
中 村 あずみ	現代における「学校の自明性」の低下について ―ボンド理論の視点から―	(森(繁))
西 井 朝 美	引きこもり支援の導入から本格的支援まで	(上田)
古 谷 衣梨奈	「20年」(制作), 「写実と抽象―写実の中に見える抽象性」(副論文)	(山野)

心 理 学 専 攻

学 生 氏 名	卒 業 論 文 ・ 卒 業 制 作 題 目	所 属 ゼ ミ
青 山 絵 梨	動物飼育と動物に対する好意度が人に与える影響	(吉村)
赤 井 浩 美	変わりゆく現代 ―親と子とテレビゲームと―	(吉村)
有 村 藍	笑顔と印象形成 ―漫画を刺激材料として―	(山上)
飯 田 瑛 里	青年期の自己と友人関係 ―現実自己・理想自己・友人の関係～	(松浦)
伊 藤 史 子	青年期女子の自我同一性と友人関係 ―感情的側面からの考察～	(山上)
伊 藤 麻依子	中学生の自己像と母親の養育態度との関係	(吉村)
伊 藤 有 香	小学生における物語の読解と「心の理論」の関連性	(山上)
岩 永 かおる	乳幼児期の愛着形成と親の養育態度がセルフ・エスティームに与える影響について	(御領)
内 田 靖 葉	小学生における学習塾の心理的役割	(山上)
大久保 歩	大学生におけるADHDへの態度・イメージ	(山上)
大 下 彩 美	更新記憶に対する加齢の影響	(御領)
大 谷 彩	横表記文の有効視野範囲について	(広瀬)
小 野 智 美	幼児における配分方略の研究	(広瀬)
柏 原 枝 里	表記の一致度と表記の親近性が再認に及ぼす影響	(広瀬)
門 屋 千 絵	友人関係の理想と現実のズレ及びそれによるストレス	(広瀬)
金 尾 智 子	女子大学生の自己開示 ―自尊心と親和動機との関係から～	(松浦)
金 子 紗 千	認知された夫婦間葛藤が女子大学生の攻撃性の形成に与える影響	(山上)
上 村 優 希	意識化プライムが漢字認知過程に及ぼす効果	(御領)
小 辻 実 央	予定の記憶における中間的特性の妥当性	(広瀬)
小 林 杏 名	漢字表記語の再認におけるソースモニタリングの検討	(広瀬)
後 藤 麻里子	音楽の与える暗記作業への影響と、認知度・ジャンル・性格との関係性について	(松浦)

櫻井 すばる	きょうだい構成と親の養育態度が性格に及ぼす影響	(吉村)
佐々木 千 明	女子大生におけるいじめ体験の影響といじめ停止理由	(山上)
嶋 田 恵	孤独感の原因帰属が友人関係に及ぼす効果	(御領)
島 津 麻 美	進路選択に対する自己効力感と進路目標の有無が及ぼす, 大学生活充実度への影響 —京都女子大学 現代GP「女子学生のキャリア教育の体系化と普及」の結果より—	(吉村)
清 水 雅 恵	学生における日本の地理的方言のイメージおよび話し手の方言使用と印象形成に関する検討 —住居歴と性別の観点から—	(吉村)
杉 山 初 音	中学生におけるストレスとソーシャル・サポートに関する研究	(吉村)
鈴木 恵理佳	ダウン症児の発達に関する一事例研究	(山上)
高 瀬 智 早	母親の養育態度が高校生の攻撃性に及ぼす影響	(吉村)
高 田 かおり	シャイネスの時間的展望 —高校生活での体験を交えて—	(松浦)
高 橋 尚 子	更新記憶に対する加齢の影響	(御領)
高牟禮 加 奈	夫婦喧嘩が子どもの性格に与える影響について	(松浦)
竹 中 美 樹	女子大生の自立過程における親子関係及び親子葛藤についての研究	(広瀬)
竹 原 有 紀	自閉症青年への学習支援のあり方について	(山上)
玉 浦 久美子	大学生における日本語文と英語文の読解方略の研究	(広瀬)
近 間 由 佳	リーディングスパンテストにおける具体語と抽象語の成績の比較	(広瀬)
塚 田 彩	介護等体験が女子大学生の障害観に及ぼす影響	(吉村)
土 江 優 季	頻度の二側面が再認に及ぼす影響	(広瀬)
富 永 理恵子	精油の使用が精神状態と作業効率に及ぼす影響	(松浦)
中 村 泰 葉	視覚的短期記憶における有意味性の効果 —顔・幾何学図形・マンガのコマを材料として—	(御領)
中 山 奈津美	カタカナ英語のストループ効果に関する研究	(広瀬)
西 中 愛紀子	両親の夫婦関係と子どものパーソナリティの関連性	(松浦)
西 村 愛 子	青年期女子の自己受容が向社会的行動や友人関係へ与える影響	(松浦)
野 路 麻奈美	両眼競合事態の知覚的解決に対する先行刺激の効果	(御領)
畑 奈緒子	青年期における自己開示と自己肯定意識の関係について	(吉村)
波多野 香住巳	大学生における自我同一性の達成と時間的展望の関連	(山上)
林 伴 美	世代別にみる学校観と理想像	(吉村)
原 野 加奈子	若者のケータイ使用と孤独感, ライフスタイルとの関係	(吉村)
匹 田 ひとみ	親和性・自律性が性役割観に及ぼす影響について	(松浦)
廣 部 香 織	青年期女子における依存性と精神的健康との関連について	(松浦)
深 田 優 子	自然体験と児童の精神的健康の関係について	(山上)
藤 戸 晴 菜	中学生の非行傾向行為 —対人関係による規定要因と抑止要因—	(山上)
星 合 淳 代	記銘項目の背景色が再認におよぼす効果	(広瀬)
水 谷 仁 美	視覚的ワーキングメモリにおける図形の複雑さの要因	(御領)
南 亜希子	兄弟構成と出生順位が青年期の友人関係に及ぼす影響	(松浦)
峯 野 真由美	青年の結婚観 —両親の夫婦関係と性役割観との関連から—	(松浦)
宮 川 璃 紗	感覚時間を用いた居心地に及ぼす姿勢の効果	(広瀬)
向 井 恵	漢字認知過程における読みの一貫性の効果	(御領)
吉 田 沙 織	大学生におけるアルバイト経験や対人関係に関する認識と社会的スキルの関連	(吉村)
吉 田 幸	Ternus Displayの異眼提示における仮現運動	(御領)
小 林 瑞 季	完全主義における大人と子どもの比較および統制不可能事態への対処との関連について	(松浦)

城 間 沙 季	感情的要因や動機づけが展覧的記憶に及ぼす影響	(御領)
畑 本 有貴子	描画の発達の研究 ―幼児期の知的リアリズム―	(山上)

音楽教育学専攻

学 生 氏 名	卒 業 論 文 ・ 卒 業 制 作 題 目	所 属 ゼ ミ
〈論文〉		
伊 藤 緑	小学校音楽科における文部省唱歌の一考察 ―学習指導要領と教科書を中心に―	(小林)
植 田 えりか	ドメニコ・スカルラッティの受容について	(秀村)
上 田 奈 美	初期ディズニー・アニメーションにおける音楽と動き ―『ファンタジア』を中心として―	(荒川)
大八木 有 希	音楽科における授業内容の明確化とその問題点	(難波)
岡 田 牧 子	ドメニコ・スカルラッティとフォルテピアノ	(秀村)
上 出 沙貴子	D. スカルラッティのソナタにおける技巧的要素 ―《チェンバロのための練習曲集》を中心に―	(秀村)
川 中 愛 子	モーツァルトの交響曲における古楽演奏について ―交響曲第40番の定量的分析をもとに―	(荒川)
香 田 百合子	日米におけるバック・グラウンド・ミュージック発展の歴史	(荒川)
末 田 景 子	自動ピアノの記録装置及び創造的使用に関する考察	(荒川)
杉 森 さやか	プロジェクトアドベンチャーの活動への音楽導入の可能性と意義	(小林)
土 屋 文 恵	アニメーション音楽の静寂の演出方法 ―アニメーション「蟲師」を軸と考えると―	(荒川)
坪 田 真 夕	音楽活動における「知」のはたらきについて	(難波)
波多野 絵 梨	現在の「リオのカーニバル」の存在意義	(小林)
久 野 翔 子	現代日本における『バイエル・ピアノ教則本』の可能性 ―保育者養成課程でのピアノ教育を中心に―	(小林)
松 本 有紀子	音楽科と数学科の「合科的な指導」に向けて	(難波)
宮 内 晴 加	ドメニコ・スカルラッティの鍵盤ソナタの構成について	(秀村)
森 本 麻衣子	ピアノ導入期に用いる教材について ―「遊び」との関わりを中心に―	(難波)
禿 川 敬 子	自閉症児における音楽療法	(小林)
松 本 彩	ドメニコ・スカルラッティの鍵盤ソナタにおける転調の手法	(秀村)
〈研究報告〉		
上 田 有 香	フランスオペラの魅力について ―フランスオペラ《Louise》と、その時代背景からみる―	(ガハブカ)
宇 田 彩 子	ジプシーとしてのカルメン	(田中)
大 木 けい子	マリア・カラスとトスカ ―歌劇《トスカ》のアリア「歌に生き、愛に生き」になぞられるわけ―	(ガハブカ)
大 薮 瑛 子	オペラ《セヴィリアの理髪師》について ―ロジーナの性格と表現―	(ガハブカ)
岡 本 香	小学校における創造的な活動について ―音楽をつくって表現する活動の考察―	(安村)
木之下 緑	S. ラフマニノフ作曲ピアノソナタ第1番についての一考察 ―『ファウスト』との関係性を軸に―	(大谷)
小 林 未 知	セルゲイ・プロコフィエフ《ピアノ・ソナタ》第2番 ニ短調 作品14 ―作曲の背景―	(大谷)

酒 井 綾 香	オペラ《Turandot》 —リユーのアリアについて—	(ガハブカ)
笹 木 こよみ	R. シューマン 歌曲集《女の愛と生涯》作品四二における「詩と音楽の繋がり」	(田中)
佐 野 愛	ピアノ演奏における身体の使い方—ラフマニノフ《ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 Op. 36 (1931年改訂版)》をもとに—	(大谷)
志 水 さやか	指揮者の必要性—合唱を通して—	(安村)
杉 崎 藍	プロコフィエフのピアノ作品はなぜ打楽器的なのか	(田隅)
高 橋 由 起	チャイコフスキーの交響曲第6番《悲愴》についての考察	(安村)
多 田 知 代	JASRACの功績と今後の課題	(安村)
田 淵 紗 織	R. W. スミス＜船乗りと海の歌＞について —吹奏楽における打楽器の役割と効果—	(安村)
寺 尾 由 羽	童謡『朧月夜』の解釈と歌唱指導についての考察	(田中)
中 島 久美子	声区を乗り越える	(田中)
中 村 直 子	ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン作曲《自作の主題による32の変奏曲》ハ短調 WoO80の成立と演奏法	(田隅)
鍋 島 有希子	ヨハネス・ブラームス作曲《スケルツォ》変ホ短調 Op. 4の背景	(田隅)
西 森 祥 子	G. プッチーニ オペラ《ラ・ボエーム》にみるミミ	(田中)
長谷川 樹 里	19世紀イタリア・オペラ「狂乱の場」について —V. ベッリーニの歌劇《清教徒》を中心に—	(ガハブカ)
樋 山 理 香	ショパン《幻想曲》へ短調 Op. 49から見る幻想曲	(田隅)
松 本 美 希	ジャズピアニスト オスカー・ピーターソンについて —《酒とバラの日々》を通して—	(安村)
矢 追 博 美	G. プッチーニの作品 —プッチーニの愛した女性主人公—	(ガハブカ)
柳 田 奈 央	クロード・アシル・ドビュッシーの芸術が円熟した作品《前奏曲集》	(大谷)
八 幡 侑紀恵	プロコフィエフと戦争ソナタ —ピアノソナタ第6番イ長調作品82を題材に—	(大谷)
山 崎 菜 央	スクリャービンと幻想曲	(田隅)
渡 邊 直 美	沢井忠夫の箏曲の魅力	(安村)

平成19年度

発達教育学部児童学科 卒業論文・題目

学 生 氏 名	卒 業 論 文 ・ 題 目	所 属 ゼ ミ
河 村 美 佳	アトピー性皮膚炎に対する大学生の意識調査	(大野)
粉川絵美・中辻由貴奈	手作り楽器の音の追求 ～ボロケンへの挑戦～	(深見)
秋 山 典 子	小児科外来における急性疾患の子どもと慢性疾患の子どもの療養不安について	(大野)
東 知 絵	絵本『てぶくろ』に関する考察 ―ラチョフの作品を中心に―	(棚橋)
安 積 ひと美	子どものキャラクター嗜好に関する一考察 ―バンダイHP「こどもアンケート」をてがかりとして―	(川勝)
安藤ときわ・柴田奈津子	幼児期における父子関係が子どもの人格形成に与える影響について	(大辻)
池 内 直 子	青年期における依存性、自己愛傾向と攻撃性との関連について	(倉本)
石 原 早 苗	非行・不良行為を防ぐ家庭環境についての一考察 ―西居院での調査をもとに―	(廣井)
石 橋 央 子	知的障害者の就労支援について	(倉本)
磯 村 えり奈	昔話絵本に関する一考察 ―ジェイコブズ再話「三匹の子ぶた」を中心に―	(棚橋)
市川 舞・伊藤万希子	児童館における訪問演奏活動	(深見)
小川恵里・寛 恵実・ 杉田沙織		
糸 賀 有 美	公教育における宗教教育 ～「心」の教育の実践～	(野村)
井 上 尚 美	企業内保育施設の特徴に関する調査 ―認可保育所の問題解決に向けて―	(倉本)
植 田 朋 子	青年期の心理的自立に影響を及ぼす環境要因	(倉本)
上 塚 藍 子	親子（父母子）間の共有時間及びコミュニケーションと子どもの情緒に与える影響との関連性 ―動的家族画（KFD）を用いての考察―	(廣井)
植村朋子・宮原 縁	ラクロス練習中の心拍数および発汗量からみた練習種目特性と練習環境の実態	(新矢)
内部真美・栗止 葵	昔と現代のおもちゃ ―子どもと親のおもちゃについての意識―	(川勝)
江 畑 実 幸	幼稚園の保護者における、広汎性発達障害に対するイメージと、統合保育に対する意識	(森下)
海老澤 裕 美	子どもと住居の一考察 ―子どもが住みやすい家とは何か―	(川勝)
海老名 梢	運動時の環境温度と水分及び塩分損失の関係	(新矢)
江 守 紗矢佳	両親への信頼性と友人関係	(森下)
大 塚 悦 子	大学生の障害者観について ―障害児・者の幸せをどのように認識しているか―	(倉本)
大 坪 美奈子	年齢の離れた下のきょうだいを持つ女子大生のきょうだい関係と性格	(森下)
大 前 美 穂	離婚家庭と教育現場の関わり方 ―親の離婚を経験した子どもと教師の立場から考える―	(廣井)
大 見 早 紀	思春期女子の友人関係に母子の親密性が与える影響 ―いじめ自殺問題、少女Aに関する考察―	(廣井)
岡 田 枝理子	親の養育態度と努力・能力感との関連	(森下)
小木曾 いつか	知的障害児施設における余暇活動について	(倉本)
荻 野 千 夏	幼児期の自然体験が思いやりの形成に及ぼす影響について	(森下)
奥 村 仁 美	テレビアニメにおける「魔法少女」の魅力	(川勝)
折 戸 沙矢香	日本における宗教教育について	(野村)

梶 山 千 尋	「グリム童話」のおおかみ像	(棚橋)
梶 原 信 里	特別支援学校小学部と小学校における学校間交流の現状と課題 ―教員への聞き取り調査から―	(倉本)
片山千裕・片山真衣	ピアノが苦手な保育者のための簡易伴奏譜の提案	(深見)
加 藤 優 里	保育における人形劇の可能性 ―丹下進の人形劇を中心に―	(棚橋)
鎌 田 祐 子	都市部と郡部の比較からみる現代の子どもの遊びと運動能力	(新矢)
亀 井 愛	おもちゃと環境問題に関する一考察	(川勝)
川 崎 久美子	女子大生の知的障害者（児）に対する態度について ―施設実習の経験が与える影響―	(倉本)
川 村 梨 紗	いわむらかずおの生い立ちから見る「14ひき」シリーズの魅力	(川勝)
神 先 由 佳	昔話「三枚のおふだ」の人形劇化に関する考察 ―丹下進脚本・演出を中心に―	(棚橋)
我 原 惇 子	小学校・特別支援教育の構造化の実際 ―今後の教育支援への活用に向けて―	(倉本)
橋 高 佐 和	自閉症児に対する個別支援の一事例 ―セルフマネジメントスキルの獲得を中心に―	(森下)
橋 高 朋 子	女子大生における母性準備性の発達と母子関係に関する認識との関連	(森下)
清 下 智 子	学校における学生ボランティアの存在意義 ―学生ボランティアの抱える思いをもとに―	(廣井)
栗 木 紫 衣	絵本美術館の現状と課題	(棚橋)
小 林 里 栄	乳児院における子育て支援の現状と課題	(廣井)
小 林 智 美	リカちゃん人形に見られる少女の憧れ ―人形遊びの持つ意味―	(川勝)
近 藤 彩 加	ADHDに関する知識がADHDを持つ人に対する態度に及ぼす効果	(倉本)
齋 部 真以子	青年期女子における自尊感情と孤独感の関連について	(大辻)
坂 田 菜 摘	自閉症児・者に対する女子大学生の知識と態度の関わりに関する研究 ―身体障害児者・者との比較において―	(森下)
笹 山 さゆり	青年期女子における自我同一性拡散と自殺感について	(大辻)
塩 貝 亜里紗	女子大学生の自己受容と子育てに関する意識の関連性について	(倉本)
品 川 華 子	センダックの絵本にみる子どもの姿	(川勝)
島 貫 茜	被虐待モデルマウスの行動異常に関する研究	(大野)
白 川 恵 美	保育所が行う自然体験活動の効果性 ―海遊びにおける子どもの行動を手がかりに―	(棚橋)
城 崎 絵 美	テレビの子ども向け番組におけるジェンダーについて ―2007年の子ども向け番組の分析を中心に―	(川勝)
新 中 佐 和	乳児院における地域子育て支援について	(倉本)
杉 本 恵 子	6ヶ月間の有酸素運動が体組成および安静時代謝に及ぼす影響	(新矢)
高 垣 なな美	低出生体重児をもつ家族への支援のあり方について	(大野)
高谷雪乃・竹内由美	大学生ボランティアによるピアノレッスンの効果に関する考察 ―養護施設に入居中の知的障害児を対象とした活動実践を通して―	(深見)
高 山 紗 季	枠組みを取り払った描画あそびの心的効果について	(土田)
竹 内 麻 希	人格からみた非行と乳幼児期の母子関係の関連性について ―現代の子どもたちが母親に求めるものとは―	(廣井)
武 田 晴 子	幼稚園に対する保護者のニーズの変化 ―社会状況の変化を踏まえた比較研究―	(倉本)
田 島 康 子	母親の養育態度と青年期の恋愛観について	(大辻)
田 中 陽 子	子ども服と子どものおしゃれについて	(川勝)
玉 井 沙 知	父親に対する娘の好悪感情の違いを生じさせる要因について ―父親の職場と住居との物理的距離と父子の心理的距離の関係性―	(大辻)

田 村 優 佳	子ども部屋の変遷と今日的課題	(川勝)
辻ノ内 理 恵	親の養育態度と向社会的行動およびその動機との関連性について	(森下)
徳 江 紘 子	保育園、幼稚園における子どもの食行動とそれに対する保育者の援助	(大野)
富岡由紀子・山田麻美	保育者効力感とアイデンティティの関連についての研究	(大辻)
中 尾 美 穂	保育における身体表現活動の効果に関する一研究（投影樹木画法を用いて）	(大辻)
中 川 渥 代	総合的な学習の教育的効果 ―峰浜小学校でのフィールドワーク調査をもとに―	(廣井)
中 野 佐 紀	食物アレルギー児の母親の不安についての研究	(大野)
中 村 綾 乃	現在と大正 ～昭和初期の離乳の比較	(大野)
中 山 恵 里	描画活動に見る幼児の色彩知覚について ―色を感じることに表現すること―	(土田)
永 尾 梢	児童期の家庭内における共食体験と社会性の発達との関連 ―情緒的共感性と社会的スキルの視点から―	(森下)
西 谷 花 織	日本の行事食について ―家族形態、就業状況、楽しみ程度との関連―	(大野)
西 村 千 裕	家族関係と子どもの社会性発達についての研究	(森下)
西村直子・二宮可織	京都女子大学児童学科の学生の就職に関する意識調査	(深見)
根 本 絵 理	生涯学習市民センターにおける子育て支援 ―楠葉生涯学習市民センターの取り組みを通して―	(深見)
野 瀬 圭以子	母親の養育態度とその子どもの育児観	(倉本)
拝 野 絵里子	両親の養育態度と子どものアサーションとの関連性について	(森下)
橋本佳奈・吉井まどか	治療薬および治験についての子どもへの説明	(大野)
畠中みさき・藤本悠 ・森迫由紀	インプロヴィゼーション遊びの実践と可能性 ―インプロで創るミュージカル遊び～	(深見)
東 尾 香奈子	山村留学の教育的効果とその影響要因 ―峰浜小学校山村留学生の変化を中心に―	(廣井)
日内地 咲 奈	1～2歳児におけるリトミック教育が身体表現およびリズム運動に及ぼす影響	(新矢)
福 島 美 奈	女子大学生のアダルト・チルドレン特性と自己開示・開示状況における開示意向の 関係について	(倉本)
福 島 由 喜	病院訪問道化師の実態調査	(大野)
福 田 麻 美	青年期の自尊心に関する研究 ―対人不安心性と肯定的他者評価に対する反応との 関連から―	(倉本)
藤 井 蓉 子	カンガルーケアに対する心配・不安の研究	(大野)
藤 岡 香 里	保育における手遊びの意義と効果について	(大辻)
藤 田 美 麗	大学生女子の男性に対する態度について ―きょうだい構成・きょうだい関係・父 娘関係との関連―	(森下)
細 川 愛 子	母親の就労が女子大生の職業観・家庭観に及ぼす影響について	(倉本)
前 田 奈名子	母親の養育態度が子どもの欲求不満耐性と攻撃行動に及ぼす影響	(森下)
松 尾 理 美	障害児とその親に対する支援の実態と課題 ―保育者の立場から―	(倉本)
松 本 知 子	特別支援教育における学校と家庭の連携について	(大野)
丸 岡 加 奈	ハローキティと人との繋がり	(川勝)
水 上 弓 子	第二反抗期の親子関係が不適応行動に及ぼす影響について	(廣井)
三 野 由紀子	一卵性双生児間における性格の類似点・相違点について	(森下)
三 室 佐 和	乳幼児期における母親の就労と子どもの発達との関連について	(倉本)
安 田 亜沙美	これからの子育て支援について ―大津市の取り組みを中心に―	(川勝)
矢 野 晴 香	パーソナリティ形成と虐待認識の有無との関係について	(大辻)
山 崎 未 貴	〈性〉と〈生〉との関連性 ―援助交際経験者への面接調査をもとに―	(廣井)
山 下 佳那子	女子大学生の自己開示と共感性の関係について	(大辻)

山 田 真由美	絵本の中のジェンダー ―描かれ方とその変遷―	(川勝)
山 野 真由子	傍観者がいじめから受ける影響について ―大学生への調査をもとに―	(廣井)
山本美佳・曜山世子	WEB絵本の可能性 ～家庭内保育への利用の可能性を通して探る～	(深見)
山 本 優	“アート”と教育は手をつなげるのだろうか ～「Arts in Education」と日本の教育～	(深見)
山 脇 麻 未	絵本と子育て	(川勝)
湯 川 真 弓	親子間の健全なコミュニケーションのあり方について ―「キレ」と親子のコミュニケーションとの関連性から考える―	(廣井)
吉 田 妙 子	青年期女子におけるきょうだい関係の好悪と共感性との関連について	(大辻)
吉 田 茉里衣	親の養育態度と子どもの自尊感情の育ち	(森下)
川 崎 由 美	非行少年を立ち直りへと導くための一考察 ―援助者と非行から立ち直ろうとしている少年達への調査を基に―	(廣井)

〈投稿規定〉

- 第1条 本誌は、京都女子大学発達教育学部の研究活動、及びそれに関連する情報を発表することを目的とし、年一回発行する。
- 第2条 本誌は、本規定第3条に挙げる諸領域に関する研究論文、研究報告、評論、書評、及び発達教育学部の教育研究活動に関する情報、その他を掲載する。
- 第3条 研究論文等の掲載は、教育学、児童学、心理学、学校教育学、芸術、その他の領域ごとに一括して行う。
- 第4条 本誌への投稿資格は、次のとおりとする。
- (1) 京都女子大学発達教育学部専任教員、及び短期大学部初等教育学科専任教員。
 - (2) 上記専任教員を論文の共著者とした研究分担者。
 - (3) その他、編集委員会が特に認めた者。
- 第5条 投稿原稿の採否は、編集委員会によって決定する。
- 第6条 刷り上がり10頁を超えるもの、及び原稿印刷に関して特に費用を要するものは、執筆者の負担とする場合がある。
- 第7条 執筆者に対しては、抜き刷り30部を贈呈する。それを超える部分については実費負担とする。
- 第8条 投稿された論文等の複写権及び公衆送信権は、原則として京都女子大学発達教育学部に帰属するものとする。ただし著作者が、事前に申し出た上で自己の論文等を利用することは差し支えない。
- 第9条 この規定は平成17年1月19日より施行する。

編集委員

ガハブカ 奈美	倉 本 義 則	棚 橋 美代子
土 居 知 子	秀 村 冠 一	森 博 文
吉 村 英	(五十音順)	

京都女子大学

発達教育学部紀要

第 4 号

平成20年2月5日 印刷

平成20年2月8日 発行

編 集 京都女子大学発達教育学部紀要編集委員会

発 行 京都女子大学発達教育学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

印 刷 株式会社 圖書 同 朋 舎

BULLETIN OF THE FACULTY OF HUMAN DEVELOPMENT AND EDUCATION

No. 4 February, 2008

CONTENTS

- Yasuo TAI** : Über den Irrtum des Natualismus in der Erziehung 1
- Junko HARA, Masaki OHNO, Kozue UHEYAMA, Masami NAGASHIMA** :
Support for siblings of hospitalized children; 1. An observation study of
independent behaviors of young children visiting a hospital 11
- Yukiko FUKAMI, Katsuko T. NAKAHIRA, Miki AKAHANE** :
Effect of submitting self-made videos in piano playing and singing practicing
for preschool teacher education 19
- Kiyoshi MAIYA, Miyoko TANAHASHI, Chie MUKAIIHARA** :
Using Puppet Play in Training of Child-care Specialists: Tange's Lesson of
Puppet Theater Play 29
- Hirofumi MORI, Takashi NAKAI, Seiichiro KIHARA** :
The current state and problems regarding teacher training in Japan as
seen from the point of view of fostering practical teaching performance. 41
- Nami GAHABKA** : Über Gesangsunterweisung für Kindergärtner und Krippen-
erzieher Training Kurs (I)
 ~Bedeutung der Vokalisation~ 55
- Keiko ARAKAWA, Somejaku HAYASHIYA, Kimiko OHTA** :
Possibilities of using Rakugo as teaching material for infants in order to
appreciate music
 —An examination of the Rakugo piece “Hirabayashi” 63
- Kimie KOBAYASHI, Yukio KOBAYASHI** :
The Eisaa of Higashi at Motobu-chou in Okinawa 83
- Kan-ichi HIDEMURA** : The Significance of Whitehead's Organic Cosmology
for the Education in the Age of Information Explosion 103